

水力発電の導入促進のための事業費補助金

平成30年度予算額 21.0億円 (21.0億円)

資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課
03-3501-4031

事業の内容

事業目的・概要

- 水力発電は、事業の開始前に河川流況の長期にわたる調査が必要であり、開発初期における事業者の大きな負担となっているとともに、開発にあたっては、地域の理解を得ることが不可欠です。そのため、流量調査等を支援するとともに、地域住民等の水力発電への理解促進を図ります。
- また、既存の水力発電所は、運転開始から40年を超えるものが全体の約半数を占めています。このため、既存発電所について、水力発電の出力及び電力量の増加を促進するため最新技術を用いた設備への更新や改造等を支援するとともに、更なる高効率化やコスト低減を促進するための技術実証を支援します。

成果目標

- 本事業を通じて、ベースロード電源である水力発電について、平成32年までに10万kWの事業化を推進します。また、既存発電所出力の15万kWの増加を図ります。

条件 (対象者、対象行為、補助率等)

補助
(定額)

補助
(2/3, 1/2, 1/3, 定額)

国

民間団体等

民間事業者・
地方公共団体等

事業イメージ

① 水力発電事業性評価等支援事業

事業化に必要な流量調査、測量等の実施および地方公共団体による地域の有望地点の調査、公表等を支援します。あわせて水力発電の技術者育成、技術情報の収集を実施します。(補助率: 1/2 (地方公共団体は定額)、委託)



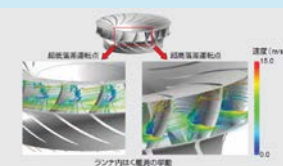
流量調査・測量作業

② 地域理解促進等関連事業

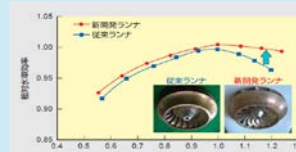
開発阻害要因の克服を図るため、地域住民等の水力発電への理解を促進する事業を補助します。(補助率: 定額)

③ 水力発電設備更新等事業

既設設備の増出力又は増電力量の可能性調査と更新工事等を支援します。(補助率: 2/3 (調査)、1/3 (工事等))



最新解析技術等による評価



解析結果等に基づく効率向上

④ 水力発電実証モデル事業

水力発電の高効率化やコスト低減に資する発電設備の製作、実証を支援します。(補助率: 2/3)



低落差でも安定して
発電可能な水車の開発事例